

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度）

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名					不法投棄監視処分事業					②事業番号		3307							
③事業類型		3. 政策推進事業			④開始年度		年度		⑤終了予定年度		年度		○ 設定なし						
⑥根拠法令等		○ 法令		条例		規則		要綱		計画等		その他		法令等の名称 廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
⑦実施手法		直営		全部委託		一部委託		補助・負担		その他									
⑧関連予算科目コード				款		4		項		2		目		2		細目		7	
⑨担当部名				⑩担当課名												会計		一般会計	
市民生活環境部				清掃課															

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
①市の面積	①市の面積	km ²
②市の人口	②市の人口	人
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか) ・不法投棄を未然に防ぐため、監視カメラの設置及び巡回監視を実施している。 ・公共用地等に不法投棄されたものは迅速に撤去回収する。 ・回収したもののうち、廃タイヤ等については法令に基づき処分している。	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
	①巡回回数	回
	②不法投棄処理件数	件
	③—	—
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか) 不法投棄物を撤去・回収することにより、不法投棄を未然に防ぐ。	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
	①廃タイヤ処分量	本
	②消火器	本
	③—	—
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連) 市域の生活環境及び公衆衛生を維持する。	総合計画体系上の位置付け	
	政策(章)	5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち
	施策大(節)	3 日常生活や事業活動などにおいてすべての市民・事業者が資源・エネルギーの利用などに配慮し、環境に負荷をかけないまちをめざします
	施策中	1 資源・エネルギー有効利用の推進
	施策小	3 ごみ廃棄物の適正処理

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	
対象指標①	市の面積	km ²	49	49	49	49	49	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②	市の人口	人	62,549	61,984	61,457	—	—	
活動指標①	巡回回数	回	105	92	147	100	100	
活動指標②	不法投棄処理件数	件	59	54	35	35	30	H30、台風21号での災害ごみ対応で、巡回回数が減少
活動指標③	—	—	—	—	—	—	—	
成果指標①	廃タイヤ処分量	本	55	48	49	60	40	
成果指標②	消火器	本	0	11	0	0	0	事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標③	—	—	—	—	—	—	—	
事業費	投入人員	人	0.85	0.75	0.65	0.65	—	
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	—	—
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	—	
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	—	
事業費	人件費(投入人員×単価)	千円	6,826	6,080	5,013	5,013	—	—
	直接事業費	千円	89	57	57	188	—	
	総事業費	千円	6,915	6,137	5,070	5,201	—	
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	—	—
	府支出金	千円	0	0	0	0	—	
	受益者負担金	千円	0	0	0	0	—	
	その他特定財源	千円	0	0	0	0	—	
	一般財源	千円	6,915	6,137	5,070	5,201	—	

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	市域で発生する不法投棄等を抑制するため。 (平成28年度に環境整備課より移管)
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	不法投棄監視により、開始当初からは不法投棄件数は減っているが予断を許さない。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	平成30年台風21号の災害対応により減った巡回回数を大幅に増やした。

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価 **A**

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	不法投棄の未然防止や不法投棄物の回収により生活環境維持に貢献している。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	市域の生活環境及び公衆衛生を維持するために必要。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	他の市町村においても、不法投棄の抑制として、監視カメラの設置及び巡回監視を実施している。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	不法投棄の抑止力が低下し、不法投棄が増加することで、生活環境が悪化する。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価 **A**

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	監視カメラ設置、監視巡回及び迅速な回収により、市域の生活環境及び公衆衛生に効果が上がっているといえる。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができますか。)	ア. ある イ. ない	監視を行い不法投棄監視巡回及び迅速な回収を継続して行う。また、日常の収集時にも監視と不法投棄物の発見に努める。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価 **A**

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費＋人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	不法投棄は予測不能なため、一定規模の財源確保は必要。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	特定の受益者負担はなじまない。

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A: 現状のまま事業を進めることが適当 B: 課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C: 課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	今後も、不法投棄の未然防止に努めるとともに、不法投棄物を撤去・回収することにより、市域の生活環境及び公衆衛生を維持していく。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

A	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止 (年まで) (年から) (年から)	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)
①改革、改善の具体案、実施年度など		不法投棄を未然に防ぐため、巡回パトロール強化と看板設置を検討。
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策		パトロール人員及び監視カメラ等の設置に伴う予算の確保。